



在宅でも容易に使える

「高速簡易懸濁・使い捨てバッグ」の開発

(株式会社モリモト医薬)

◆第8回日本在宅薬学会
学術大会
2015年7月20日
幕張メッセ 国際会議場

◆概要

胃ろうなど経管投与の患者への投薬の方法として、日本の半数以上の病院において倉田式簡易懸濁法が用いられている。現在は主に懸濁ボトルやシリンジなどを使っていて、確かに従来の粉碎法と比較すると簡便になったが、ボトルやシリンジの再使用や、懸濁に時間がかかり長時間放置するなど、衛生面や作業性、安全面において、患者にとっても、薬剤師・看護師にとっても不安が残る。

そこで、当社は在宅でも容易に使える高速簡易懸濁・注入バッグを、新しく昭和大学薬学部の倉田先生と共同開発した。

本製品を用いて薬剤を押しつぶすことにより、従来の簡易懸濁法では適さないとされてきた薬剤を容易に懸濁できることが、実験により確認された。



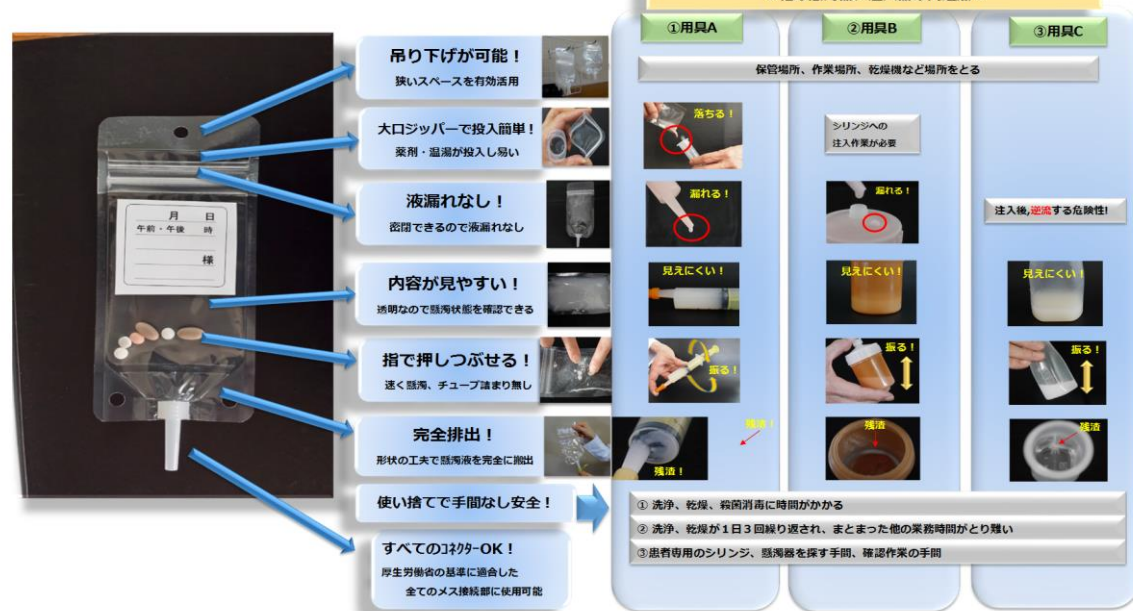
◆新型注入バッグの使用手順



◆新型注入バッグによる薬剤崩壊手順



◆新型注入バッグの特長



◆簡易懸濁法の適用が困難な医薬品に対する

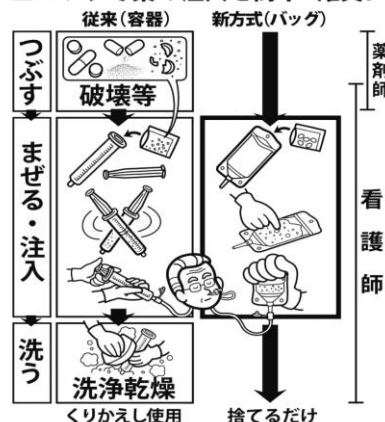
新型注入バッグ使用でのチューブ通過性試験

番号	商品名(規格)	剤形	マクロゴール含有	通過評価 サイズ (Fr.)	55℃	
					5分	10分
1	タケブロンOD錠15	OD錠	●	8	○	○
2	ミカルディス錠40mg	素錠	—	8	○	○
3	メインテート錠2.5mg	素錠	—	8	○	○
4	チラチンS錠50μg	素錠	—	8	○	○
5	ビスプロロールフマル酸塩錠2.5mg「日医工」	素錠	—	8	○	○
6	グリチン配合錠	糖衣錠	—	8	☆	☆
7	コントミン糖衣錠25mg	糖衣錠	—	8	○	○
8	トフラニール錠25mg	糖衣錠	—	8	☆	☆
9	パロチン錠10mg	糖衣錠	—	8	☆	☆
10	ベゲタミン錠B	糖衣錠	—	8	☆	☆
11	5mgアリナミンF糖衣錠	糖衣錠	—	8	○	○
12	25mgアリナミンF糖衣錠	糖衣錠	—	8	○	○
13	50mgアリナミンF糖衣錠	糖衣錠	—	8	○	○
14	チョコラA錠1万単位	糖衣錠	—	8	○	○
15	チオラ錠100	糖衣錠	—	8	☆	☆
16	リマチ錠100mg	糖衣錠	—	8	○	○
17	ブラビックス錠25mg	フィルム錠	●	8	○	○
18	ブラビックス錠75mg	フィルム錠	●	8	○	○
19	レザルタス配合錠LD	フィルム錠	●	8	×	×
20	レザルタス配合錠HD	フィルム錠	●	12	☆	○
21	アレグラ錠60	フィルム錠	—	8	○	○
22	シングレア錠10mg	フィルム錠	—	8	○	○
23	クラビット錠(100mg)	フィルム錠	●	8	○	○
24	オーグメンチン250RS	フィルム錠	—	8	☆	☆
25	シメチジン錠200mg「タナベ」	フィルム錠	●	8	○	○
26	ラニチジン錠75mg「タイヨー」	フィルム錠	●	8	○	○
27	セレキノン錠100mg	フィルム錠	—	8	—	○
28	イーケブラ錠500mg	フィルム錠	●	8	—	○
29	ポリリファン錠500mg	フィルム錠	●	8	—	×
30	ピタミンE錠50mg「NT」	フィルム錠	●	8	○	—
31	カルナクリン錠50	フィルム錠	—	8	—	×
32	ゲタスカプセル10mg	硬カプセル	—	8	○	○
33	アルタットカプセル75mg	硬カプセル	—	12	○	○
34	フェルムカプセル100mg	硬カプセル	—	8	○	○
35	セルセプトカプセル250	硬カプセル	—	8	○	○
36	ストラテラカプセル10mg	硬カプセル	—	8	○	○

記入例：○：投与可能 ◎：指で押し潰し ☆：ｽﾌﾟｰﾝ等で押し潰し ×：投与困難
△：時間をかければ完全崩壊しそうな状況、またはコーティング残留等によりチューブを閉塞する危険性がある崩壊状況"

◆標準化が可能

■バッグで薬の注入を簡単・確実に



《シリンジ・容器 → バッグへ》

◎従来課題

- ①従来は作業手順がバラバラなので標準化することが困難
- ②懸濁時間がかかり配合変化が懸念
- ③用具を繰り返し使用するので作業のバラツキと衛生面でも問題

★新型注入バッグはすべてを解決し、
経管投与の患者さんに対し
分かりやすく安全な標準化を可能！

◆高速簡易懸濁・注入バッグはインシデントを回避できる

- ・チューブ閉塞：経口から経鼻管へ変更時、懸濁できる薬が確認変更せず閉塞
→ 注入バッグは薬剤の溶解の目視が容易なので回避可能
- ・誤薬：チップと分包の氏名の不一致、薬の色が違うことに気づき、取り違えが発覚
→ 注入バッグへの分包袋貼付、付属ラベル貼付で防止可能
- ・患者誤認：チップの名前を取り違えて準備、昼の内服がない患者に用意された
→ 注入バッグへの分包袋貼付、付属ラベル貼付で防止可能
- ・シリンジ紛失による薬の用意忘れ：シリンジが見当たらず、薬の準備を忘れた
→ 注入バッグは使い切り、洗浄乾燥不要

※新型注入器をお試しいただいた病院からのご意見

【まとめ】

新開発の「高速簡易懸濁・使い捨て注入バッグ」の使用で

- ①錠剤を押しつぶせるので、簡易懸濁法で不適の薬剤が、使用可能になる
- ②使い捨てだから衛生的で安全・安心
しかも、コストダウンも実現
- ③懸濁状態を確認できるのでチューブ詰りを回避
- ④気密性が高く抗がん剤などの使用時も安全・安心

◆手技が簡単で在宅でも使用しやすい！

◆介助者の負担が軽減できます！

株式会社 モリモト医薬

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島5丁目8-28

お問合せ先 Tel:0120-600-937 Mail:customer@m-ph.co.jp

ホームページ:http://morimoto-iyaku.jp

◆日本薬剤学会 第29年回、第30年会
◆簡易懸濁法研究会総会
◆医療薬学フォーラム2014
◆日本病院薬剤師会関東ブロック 第44回学術大会
◆第24回日本医療薬学会年会
◆JSPEN 2015
これらの学会で発表した内容を整理した資料です